

目標せ、世界！海外で活躍する日本人プレイヤー

久宝由実 Yumi Kubo

スイス・ロマンド管弦楽団管弦楽団
第一ヴァイオリン奏者

「アモイヤル先生のレッスンは『君が表現したいのは何か』という問い合わせ始めます。それは人生で初めての問い合わせでした」

文=中 東生
Text=Shinobu Naka

連載16



⑯

ローザンヌ音楽院に留学

高校生の頃から、自分がやっている西洋音楽の発祥の地で学びたいと強く意識し始めた。そして18歳の時、石井志都子先生の勧めで受講した夏季講習で、アモイヤル先生に出会った。「受講生のレヴェルは高く、光るものを持っている人が大勢いました。彼らは欠点をたくさん持つながら、それ以上にずば抜けた長所を持つているのです。2年連続で受講して、アモイヤル先生が教鞭をとるローザンヌ音楽院に留学を決めました。

コンサートや試験曲は仕上がる寸前まで自由に弾かせておいて、最後にアドバイスを受けるので、本番直前に基本的コンセプトを変えたこともあります。でも、ライヴ音楽というものは本来、その日その日の状況で大きく変わるもので、最終的には舞台で創り上げるものだと思します。その学習法は、型にはまらず、その日の音楽を創り上げるよい訓練になりました。また長所短所をたくさん持ち合わせた同級生たちに聞ま

た

桐朋学園のディプロマ・コースを2年で修了し、ローザンヌ音楽院受験の準備を始めようとしていたところ、受験は思っていた6月ではなく、4月23日だという連絡が入る。「必死に準備して受験3日前の4月20日、降り立ったチューリヒ空港は季節外の大雪だったのを覚えています」それでも、書類選考に残った受験生14人が争った唯一の席を無事獲得して、晴れて音楽院入学した。

4年でローザンヌ音楽院を卒業し、アモイヤル氏が創設したカメラータ・ローザンヌに入団する。「この時期に、世界をツアード回る機会と、沢山の曲を学ぶ機会が得られ、先生とJ.S.バッハの『2台のヴァイオリンのための協奏曲』ツアードも出ました」

その後、2007年に初めて受けたオケのオーディションでスイス・ロマンド管弦楽団の第二ヴァイオリニに入団、09年には第一ヴァイオリンを受け直し今に至る。

「スイス・ロマンド管はオペラも演奏する機会が多いので気に入っています。歌は誰でも持っている楽器で、一番自然に表現できる芸術なので、そのスペシャリストであるオペラ歌手たちと共に演することで学ぶことはとても多いです。また、本拠地であるヴィクトリアホールの美しさにも惹かれ、日本からお金を払って見に行くような場所で毎日働けると思うと涙が出るほどでした」そして何よりも、仏語圏のオーケストラ特有の明快な響きが、選択の決め手だったという。

「アモイヤル先生のレッスンは『君が表現したいのは何か』という問い合わせ始めます。それは人生で初めての問い合わせでした」

自分はこの先どう伸びていくのだろう」ということに興味を持ち始めたのもこの時期でした

スイスでの音楽活動

「スイスでの音楽活動」

高橋由実は、伝統文化に顕著なように、上手に「型」にはめるために欠点を消していく傾向があると思うのですが、アモイヤル先生のレッスンは「君が表現したいのは何か」という問い合わせでした。また例えば、1つのフレーズを5通り違った弾き方で演奏させられました。

コンサートや試験曲は仕上がる寸前まで自由に弾かせておいて、最後にアドバイスを受けるので、本番直前に基本的コンセプトを変えたこともあります。でも、ライヴ音楽というものは本来、その日その日の状況で大きく変わるもので、最終的には舞台で創り上げるものだと思します。その学習法は、型にはまらず、その日の音楽を創り上げるよい訓練になりました。また長所短所をたくさん持ち合わせた同級生たちに聞ま

障のスペシャリストがいる。産休は給料全額支給で産前8週間、産後5カ月もらえるという厚遇だ。

山田和樹を迎えて

首席客演指揮者山田和樹のオケとの関係も興味深い。「山田さんがスイス・ロマンド管にデビューした時は、代役の代役のような状況でしたが、『火の鳥』など本当に素晴らしい出来映えで、これによって、楽団員の若い指揮者に対する考え方が大きく変わりました。山田さんの生き生きとした音楽、しなやかな指揮や、アイディアによって劇的に変わる音楽を

団員は楽しんでいます。そして、彼の求めているものが何なのか、どう歌わせたいのかを理解するために、言っていることは一字一句聞き逃さないようにしていて、オケのやる気が高まりました。『彼についてこう』と思わせる指揮者です」

留学を希望する人たちに
「個人的には留学をお勧めします。
音楽の勉強だけでなく、その土地に
しかないものを食べ、見ながら、い
ろいろな事柄に対する興味を広げ
て、人間として豊かに成長できる生
活を送って欲しいです。海外に出て
はじめて見える日本のよさを自覚
し、日本人の得意分野をなくさず、
海外生活でしか味わえないものを吸
収して欲しいです。留学経験は良し
も悪しきも糧になるけれど、『無理
だ』と思つたら、立ち止まつたり、
戻つたりするのもまた、大きな一步
だと思います」

「いま妊娠中だからかもしれません
が、今まで自分のためだけにコン
クール、講習、留学と進んで来た私
が、これからは与える側になりたい
と思うようになりました。自分の受け
てきた教育を振り返るよりもな
り、今後は若手の育成に目を向けた
いです」

来日公演を前に

山田和樹自身が「スイス・ロマン
ド管とはまるで恋愛関係のよう」と
言うほどの相思相愛ぶりが日本ツ

アーデモ伝わるはず、と語る久宝さ
ん。久宝さんもまた、スイス・ロマ
ンドに恋をしているようだった。

■久宝由美(ヴァイオリン)

桐朋学園女子高校、同学園ディプロマ・コースを首席で卒業。01年日本モーツアルト・コンクールで奨励賞、続く国際モーツアルト・コンクール派遣選考演奏会で優秀賞、マック・J・ジョスト財団から特別賞を受賞。ソリストとして大阪府セントチューリー響(現日本センチュリー響)、シンフォニエッタ・ドゥ・ローランズ、ショピーツ・フィルハーモニー、カムラータ・ドゥ・ローザンヌ等と共演、またヴィオラ・ソロとしてカムラータ・ドゥ・ローランス、カメラータ・ドゥ・リジー等と共演。ザルツブルク音楽祭をはじめ数多くのヨーロッパの音楽祭に参加、また、白鳥音楽祭をはじめマカオ、香港、中国、タイ、シンガポール、レバノン、シリヤなど、世界各国に演奏旅行する。これまでに三瓶詠子、石井志都子、ピエール・アモイヤルの各氏に師事。07年スイス・ロマンド管に入団。

(曲目) ピゼー「アルルの女」第2組曲 エット」「アランドール」「チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、リムスキイ-ロルサ」「交響組曲「シェエラザード」

(曲目) ピゼー「アルルの女」横浜みなとみらいホール(簡合せ) 横浜みなとみらいホールチケットセンター 03-6822-2000 (曲目) ピゼー「アランドール」チャイコフスキイ「アランドール」チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、ベリオリーズ「幻想交響曲」(簡合せ) ジャパン・アーツ 03-5774-3040

(曲目) 藤倉大(Rare Gravity)世界初演「チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、ベリオリーズ「幻想交響曲」(簡合せ) 横浜みなとみらいホールチケットセンター 03-6822-2000 (曲目) ピゼー「アランドール」チャイコフスキイ「アランドール」チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、ベリオリーズ「幻想交響曲」(簡合せ) ジャパン・アーツ 03-5774-3040

(曲目) 藤倉大(Rare Gravity)世界初演「チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、ベリオリーズ「幻想交響曲」(簡合せ) 横浜みなとみらいホールチケットセンター 03-6822-2000 (曲目) ピゼー「アランドール」チャイコフスキイ「アランドール」チャイコフスキイ「ヴァイオリン協奏曲」(程本大進Vロ)、ベリオリーズ「幻想交響曲」(簡合せ) ジャパン・アーツ 03-5774-3040

エルネスト・アンセルメにより1918年に創設。ほぼ半世紀にわたりアンセルメが統率し、歴代の音楽監督には、アルミニン・ショルダン、マレンケ・ヤノフスキ等が名を連ねる。40年代からアンセルメ指揮で、デッカ・レヴエルで録音を開始。現在113名の専属団員を擁し、世界中で定期的に公演を行っている。2012年よりネーメ・ヤルヴィが音楽監督。山田和樹が首席客演指揮者に就任し、新時代の幕開けを迎えた。

■スイス・ロマンド管弦楽団
Orchestre de la Suisse Romande

山田和樹を迎えて



ジュネーブでスイス・ロマンド管メンバーと行った東日本大震災チャリティ・コンサート。久宝さんが声がけて実現した(2011年5月29日)



アモイヤル先生(左)と親友のアレックスと



留学時代仲の良かった友人の家で



スイス・ロマンド管第一ヴァイオリン・セクションのメンバーと

山田和樹自身が「スイス・ロマンド管とはまるで恋愛関係のよう」と言うほどの相思相愛ぶりが日本ツ

2140
合時・会場) 7月12日、熊本県立劇場コンサートホール(簡合せ) 096-363-2233
◎武蔵野合唱団第47回定期演奏会(合時・会場) 7月9日19時・東京芸術劇場(曲目)三善晃(唱歌の四季)「メンデルスゾーン」「交響曲第2番(讃美歌)」(林正子S、市原愛S、西村悟T) (簡合せ) 武蔵野合唱団 080-4811-4866